

2022 SPIC ハッカソン(チーム/個人) 初回ガイダンス

資料作成者／良原

1. 学習教育目標

短期での作品制作を通じて開発力を向上させる

システム開発演習では、チームでの共同作業を行います。制作を行う授業では普段の授業で学んだ知識・技術をアウトプットする能力が求められます。短期開発を通じて自身の開発力を高めること目標とします。

2. ハッカソンとは

ハッカソン (Hackathon) とは、ハック (Hack) とマラソン (Marathon) を掛け合わせた造語です。与えられたテーマに対し、それぞれの技術やアイデアを持ち寄り、短期間 (1 日～1 週間程度) に集中してサービスやシステム、アプリケーションなどを開発し、成果を競う開発イベントの一種を指します。

※授業では 8 日間の期間を設けています。

3. 2022 年度の SPIC ハッカソン テーマ

〇〇をアップデート

アップデートとは直訳すると「更新」という意味です。物事をより進化させる素敵な言葉です。身近な何かを少し便利にアップデート出来ることはありませんか？小さな不満をこのハッカソンで解消してみましょう！！

4. 今回のねらい

- 短期開発を行うことで企画・製造・発表を行い、ものづくり力の向上を図る。
- チーム作業を通じて、コミュニケーション能力およびスケジュール管理能力を養う

5. 授業方針

・授業スケジュール

ターム	日程	概要
第 1 ターム	2 月 1 4 日 (火)	初回ガイダンス、アイデアソン
	2 月 1 5 日 (水)	アイデアソン
	2 月 1 6 日 (木)	チーム・役割・スケジュール設定
	2 月 1 7 日 (金)	ハッカソン
第 2 ターム	2 月 2 0 日 (月)	ハッカソン
	2 月 2 1 日 (火)	ハッカソン
	2 月 2 2 日 (水)	ハッカソン
	2 月 2 3 日 (木)	祝日 (天皇誕生日)
	2 月 2 4 日 (金)	成果発表 (展示・試遊会形式) ECCEXPO 見学

・初回ガイダンスについて

初回ガイダンスはこの資料になります。各自プリントの内容は目を通しておいください。

・チーム編成について

今回のハッカソンはチームまたは個人どちらでも可能です。

アイデアソンはいろんな人と交流をもってその中で一緒にやってみたい人同士がチームで動ければと考えています。

・ハッカソンについて

短期開発なのでとにかく手が止まらないようにしてください。失敗を恐れずにトライ & エラーを繰り返しながら開発を進めてください。現時点では技術的に難しい部分はあると思いますが、学んだ範囲で実現できる方法を工夫してみてください。

2022 SPIC ハッカソン(チーム/個人) 初回ガイダンス

・ アイデアソンについて

【ブレインストーミング】

集団でアイデアを出し合うことによって相互交錯の連鎖反応や発想の誘発を期待する技法である。
人数に制限はない。5~7 名、場合によっては 10 名程度が好ましいというやり方もある。

ブレインストーミングの 4 原則

●判断・結論を出さない（結論厳禁）

自由なアイデア抽出を制限するような、批判を含む判断・結論は慎む。

判断・結論は、ブレインストーミングの次の段階にゆずる。

●粗野な考えを歓迎する（自由奔放）

誰もが思いつきそうなアイデアよりも、奇抜な考え方やユニークで斬新なアイデアを重視する。

新規性のある発明はたいてい最初は笑いのものにされる事が多く、そういった提案こそを重視すること。

●量を重視する（質より量）

様々な角度から、多くのアイデアを出す。

一般的な考え方・アイデアはもちろん、一般的でなく

新規性のある考え方・アイデアまであらゆる提案を歓迎する。

●アイデアを結合し発展させる（結合改善）

別々のアイデアをくっつけたり一部を変化させたりすることで、

新たなアイデアを生み出していく。他人の意見に便乗することが推奨される。

★ブレインストーミングが落ち着いたら、アイデアの整理をしましょう。

その中から今回のハッカソンで活かせそうなアイデアをピックアップしましょう。

・ 成果発表について

2 月 2 4 日（金）の成果発表は展示形式で実施します。※時間で交代制

制作した作品の展示を行い、見学者に作品の紹介をしてください。相手に情報を伝えるのも IT 企業では求められる能力です。

7. ECC EXPO 見学について

2 月 2 4 日（金）は ECC EXPO が開催されています。ECC の学生作品の中で優秀な作品が展示されています。
すべてのクラスが一斉に移動すると会場が混雑するので担当教員の指示に従って見学してください。

8. その他

現有の学校資産（ハードやソフト等）の範囲で開発をお願いします。

以 上